

第35回アウトドアカレッジ（ダム部）

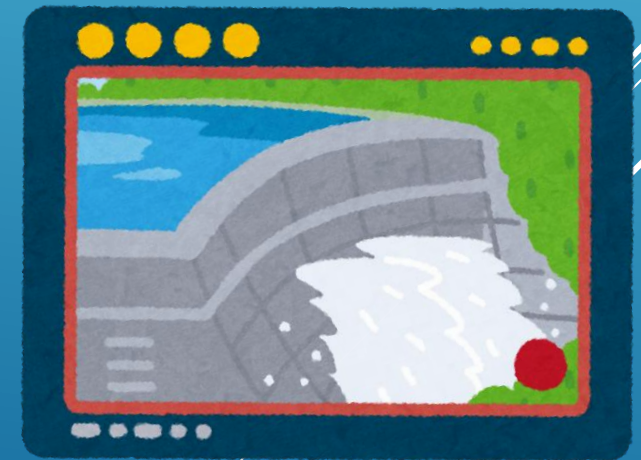
# 設楽ダムの湖面利用を 考えよう

川向・八橋・大名倉3公園の概要について

令和8年4月15日（水）午後7時～午後8時@設楽ダム広報展示室

# 本日の内容

1. 前回のまとめ
2. 3公園に関するこれまでの検討結果について
3. 今年度の町委託業務について
4. 意見交換



# 1. 前回のまとめ

今回は「河川空間のオープン化」について説明しました。

(まとめ)

- ・ 河川空間（河川区域）の占用は原則公共のみだったが、平成23年の規制緩和により民間事業者も営業活動可能に。
- ・ 河川空間のオープン化の手続きでは、「協議会等による地域の合意形成」が必要  
→他のダムでは行政以外に商工会や漁協、観光協会などが構成員
- ・ オープン化の事務手続きは2年程度必要

# 1. 前回のまとめ (質問など)

## ・公園内の電気・水道の整備はどうか？

→電気を使用する施設がある場合は中電などが整備。

上下水道はいずれの公園も町の水道整備エリア外であり沢水の活用や井戸を掘ることを検討する必要がある。事業用の電気設備（高圧受電設備）や水道の整備予定はない。

## ・トイレの整備予定は？

→川向公園には水洗トイレを作る予定、八橋・大名倉はバイオマストイレなど何かしら対策を練る必要がある。

## ・各公園の広さは？

→のちほど説明します！

# 1. 前回のまとめ

(質問など)

- **事業構想は早めにスタートさせた方が良いのでは。**

→スモールスタートをするのも良い。

道の駅横の寒狭川エリアで河川空間のオープン化の実績を作るという考え方もあり。オープン化の事務手続きを始める前に事業構想を進めていくことは問題ない。

- **施設の利用料金はどうなる？**

→詳細はこれからですが、他のオープン化事例（上矢作・岡崎）を調べたところオープン化を実施する区域に対して、占用主体である市町村が河川管理者へ支払う占用料金は発生しないとのこと。おそらく、各事業者さんが使用するエリアの使用料のみ負担する形になると想定される。（行政財産の使用料・・・1㎡あたり55円/月）

# 2. 3公園に関するこれまでの検討結果について

- 令和3年～令和5年にかけてダム湖周辺整備等検討として業務委託を実施。

## (1) 現状の把握

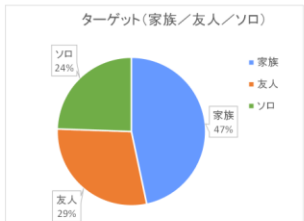
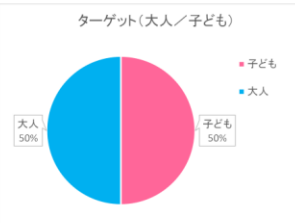
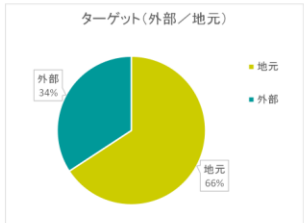
### 2. ダム湖周辺施設の検討 (2)現状把握 4)既存施設等を踏まえたダム湖周辺施設の機能整理

町内の既存施設の利用状況を踏まえ、施設利用のターゲットの想定及び必要機能の検討を行った。

#### (1) ターゲット

各施設の利用者を分類し、利用者の属性の傾向を整理

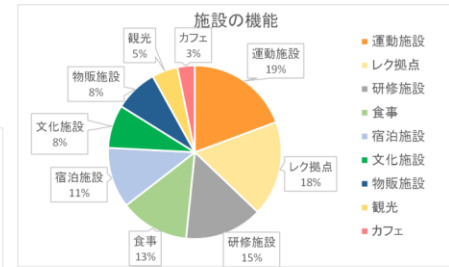
分類の観点  
 地理 (外部/地元)  
 年代 (子ども/大人)  
 人数 (家族/ソロ/友人)



- 地元に向けた施設が多い
- 家族向けの施設が多い

#### (2) 施設機能

各施設が有する機能の多寡を整理



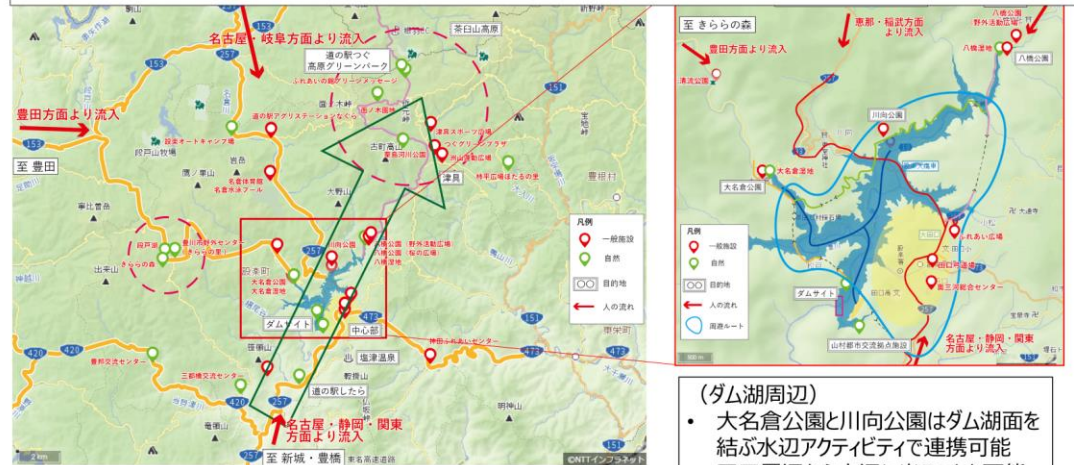
- カフェが少なく休憩機能が不足
- 物販施設が少ないが、町PRのために必要な機能
- ダム整備による観光客増加を考慮すると、宿泊施設は不十分

施設利用ターゲットの想定

### 2. ダム湖周辺施設の検討 (2)現状把握 5) 町内施設との連携検討

設楽町への広域からの来訪も見据え、観光に関する既存施設の分布状況と来訪者の流入方向を整理した。

町内施設との連携は、広域的な利用者確保を見据え、ダム湖周辺に集客機能を充実させることで町内の滞在時間を増加させ、地域への消費等に繋げる必要性を把握した。ダム湖周辺では、「山村都市交流拠点施設」⇒「ダムサイト」⇒「大名倉公園」⇒「川向公園」⇒「八橋公園」⇒「田口の市街地」を結ぶ周遊ルートについて把握した。



- (広域)
- 名古屋・豊田・岐阜からは車でアクセス性が良好
  - 町南部にはキャンプ場などアウトドア要素なし

- (ダム湖周辺)
- 大名倉公園と川向公園はダム湖面を結ぶ水辺アクティビティで連携可能
  - 田口周辺から水辺に出ることも可能
  - 津具と市街地のルート上にある八橋公園は地元の立寄りとして有効


来訪者流入方向と町内施設との連携



## 2. 3公園に関するこれまでの検討結果について

### (2) 元地域住民ニーズ把握

	ニーズ
大名倉公園	<ul style="list-style-type: none"><li>・大名倉の名前を公園として残して欲しい</li><li>・大名倉全体が見渡せる展望</li><li>・新しいモニュメントの創出</li><li>・大名倉の特徴を残して伝えたい（例えば紅葉）</li></ul>
川向公園	<ul style="list-style-type: none"><li>・「しだれ桃の里」を再現できるような場の創出</li><li>・元住民が交流できる場の創出</li><li>・神社から移設した石碑の設置</li><li>・大名倉、八橋地区との交流できる場の創出</li></ul>
八橋公園	<ul style="list-style-type: none"><li>・ウバヒガンザクラを残して欲しい</li><li>・サクラのために集う住民の心をつなぐような場の創出</li></ul>

- 
- ・ 旧住民による地元地域への愛着が感じられる地域性の継承
  - ・ どの地域の住民も、ダム湖ができた後も地域の歴史や文化が継承されることを望んでいる

## 2. 3公園に関するこれまでの検討結果について

### (3) 3公園全体のコンセプト

タイトル・項目	内容
上位計画及び関連計画における3公園に求められる方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を活かした交流や、ダム湖面を活用した体験など緑と水と人々が親しめる公園</li> <li>・まちの暮らしに活気、愛着、自信を創出する公園</li> <li>・民間活力導入による経済効果、協働を生み出す公園</li> </ul>
対象地域周辺の特徴、魅力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化に富んだ四季（花、紅葉、食べ物等）</li> <li>・ダム湖を中心とした「水辺環境」</li> <li>・新たに建設されるダム</li> <li>・点在する地域資源を繋ぐ周遊・回遊ルート</li> <li>・清流と緑に囲まれた自然環境、湿地（大名倉）</li> <li>・新たに出来るダム湖の水辺、しだれ桃（川向）</li> <li>・川辺、湿地、ウバヒガンザクラ（八橋）</li> </ul>
設楽町の目指す将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトドアのまち設楽</li> </ul>
町内施設等から整理した必要機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休憩機能、宿泊機能、物販（PR）機能強化の必要性</li> </ul>
町内施設等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダム湖周辺にアウトドア関連のアクティビティを創出し、滞在時間延長による地域への経済効果を狙う。</li> <li>・「山村都市交流拠点」⇒「ダムサイト」⇒「大名倉公園」⇒「川向公園」⇒「八橋公園」⇒「田口の市街地」を結ぶ周遊ルートが設定可能</li> </ul>
住民のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの地域の住民も、ダム湖ができた後も地域の歴史や文化が継承されることを希望</li> </ul>

3公園の役割
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな観光・アウトドア活動を創出するための拠点</li> <li>・ダム整備により失われる地域の生活、記憶を継承する場の創出</li> <li>・ダム湖周遊観光の休憩の拠点</li> </ul>



#### ■ 公園全体のコンセプト (目指すべき目標像)

『旧集落の人々の生活・文化の記憶を継承し、地域固有の魅力を高め、発信する場』  
～遊び、学び、憩いの体験拠点～

- ・新たにできるダム湖を中心とした水辺環境を活かした魅力溢れる遊び空間の創出
- ・水、緑の豊かな自然を身近に感じ、自然を通じた様々な体験・学び拠点の創出
- ・旧集落の生活の名残をとどめ、地域の人々の愛着を醸成し大切にされる憩い空間の創出

## 2. 3公園に関するこれまでの検討結果について

### (4) 各公園全体のコンセプト

#### ■ 大名倉公園

**山間の豊かな緑と川の水辺や湿地の生き物等、多様な自然とのふれあいを楽しめるアウトドアアクティビティの拠点**

- 旧集落の住居や棚田の高低差を活かしたゾーニングにより、キャンプ等のプライベートな活動がしやすい空間
- 自然散策や水遊び、魚釣り等を楽しむことができる空間
- 旧住民たちが昔を懐かしみ、憩うことができる空間

#### ■ 川向公園

**優れた眺望と水辺を活かした体験活動が楽しめる観光スポット**

- 観光客の目的地として、設楽の魅力を感じる空間
- 地域が大きく変容しても、元住民が昔の記憶を懐かしみ、再び集えるメモリアル機能を持つ空間
- 目の前の水辺を活かしたアクティビティやビュースポットの創出
- 浮き島や他の2公園との連携を活かした特別な公園

#### ■ 八橋公園

**桜の広場を中心としたメモリアル公園と湖畔の水辺を活かしたアウトドアアクティビティの地**

- 設楽町天然記念物である“八橋ウバヒガン桜”を活かし、旧住民にとってのメモリアル・憩いの広場として、皆に愛される公園
- ダム湖畔の東端部に位置し、境川の水辺や森林の豊かな自然に囲まれた環境を活かした野外活動の拠点

## 2. 3公園に関するこれまでの検討結果について

### (5) 対策協の水没地区役員・委員の考え

令和8年3月24日（火）に設楽ダム対策協議会の水没地区（八橋・川向・大名倉）役員・委員の方々に公園整備に対する考えのヒアリングを実施しました。

#### 【公園整備に対する思い】

各地区がどのような部落だったのか、なぜ水没することになったのかなどを、水没地区の歴史・文化を伝える場にしてほしい

#### 【設置・整備希望の施設】

- 八橋・・・忠魂碑、歌碑、石灯籠
- 川向・・・石碑、しだれ桃の植栽、休憩用、ベンチ（日よけ）
- 大名倉・・・石碑、平地での整備

メモリアルパーク的機能

# 【参考】メモリアルパークのイメージ (企画ダム対策課撮影)



川上ダム (三重県伊賀市)

# 大名倉公園

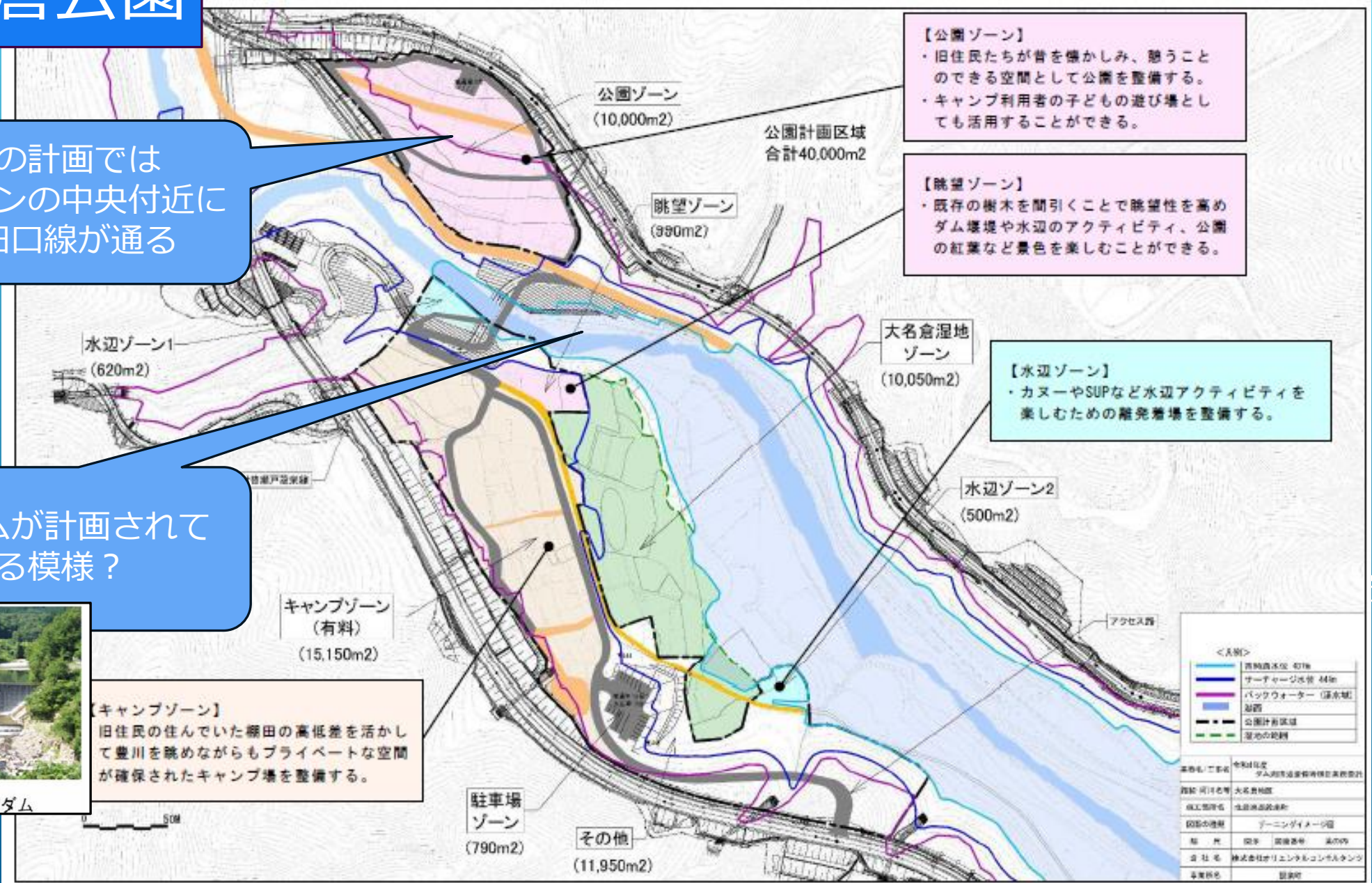
現在の計画では  
公園ゾーンの中央付近に  
小松田口線が通る

取水ダムが計画されて  
いる模様？



阿木川貯留ダム

【キャンプゾーン】  
旧住民の住んでいた棚田の高低差を活かして豊川を眺めながらもプライベートな空間が確保されたキャンプ場を整備する。



【公園ゾーン】  
・旧住民たちが昔を懐かしみ、憩うことのできる空間として公園を整備する。  
・キャンプ利用者の子どもの遊び場としても活用することができる。

【眺望ゾーン】  
・既存の樹木を間引くことで眺望性を高めダム堰堤や水辺のアクティビティ、公園の紅葉など景色を楽しむことができる。

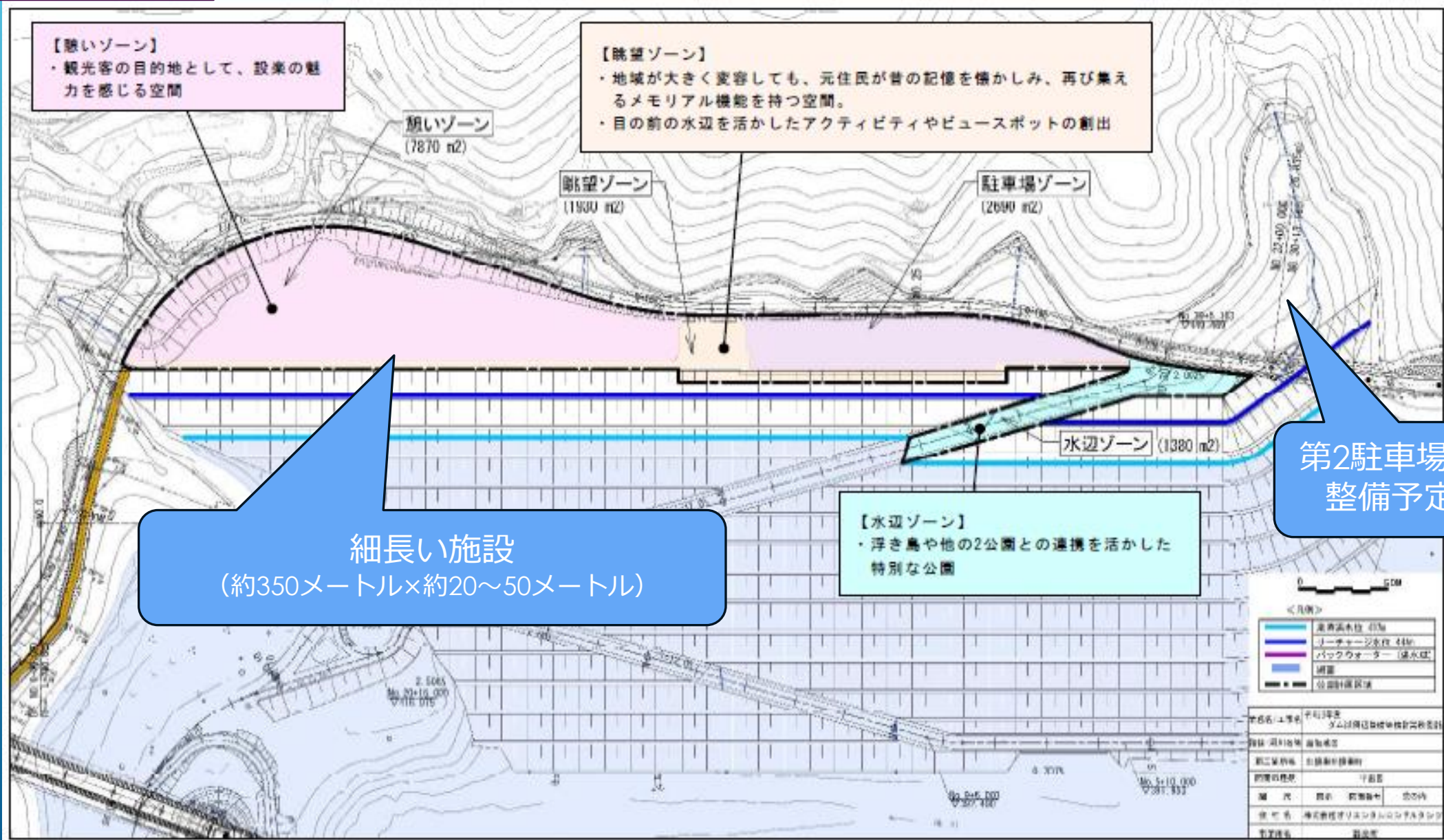
【水辺ゾーン】  
・カヌーやSUPなど水辺アクティビティを楽しむための離発着場を整備する。

<凡例>	
青線	西阿木川 河川
赤線	サーチャージ水路 44m
紫線	バックウォーター (湧水域)
緑線	遊歩
黒点線	公園計画区域
緑点線	湿地の範囲

実施主体	令和4年度	ダム利用促進事業補助金交付事業
設計	河川事務所	大名倉地区
施工管理	地産地消推進課	
図面の作成	ゾーニングイメージ図	
種別	国庫	国庫補助金
種別	国庫	国庫補助金
種別	国庫	国庫補助金
種別	国庫	国庫補助金
種別	国庫	国庫補助金

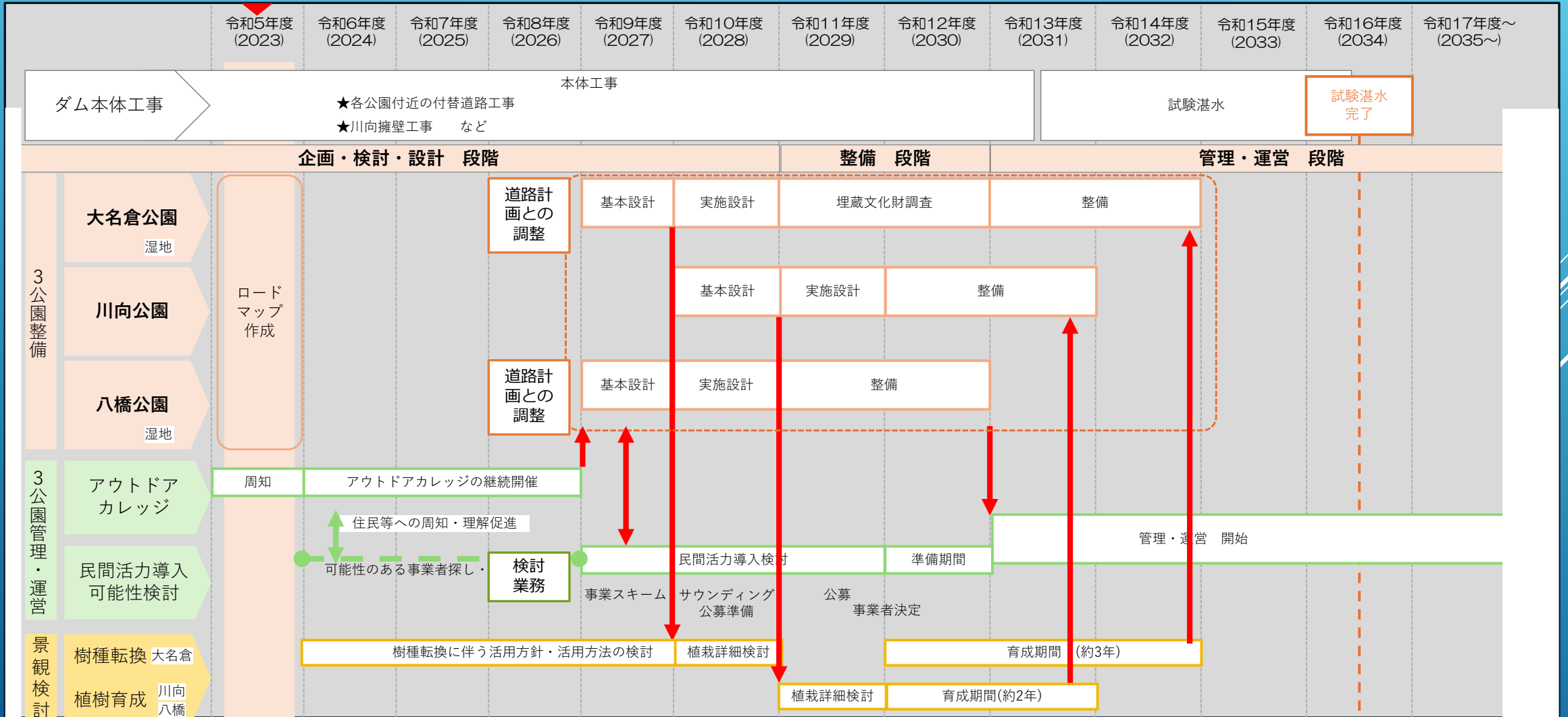
# 川向公園





# 2. 3公園に関するこれまでの検討結果について

## (6) ロードマップ (予定)



## 2. 3公園に関するこれまでの検討結果について

### (7) 今後の課題

#### ① 整備費

令和4年度の委託業務における各施設の概算工事費

八橋	80百万円
川向	259百万円
大名倉	306百万円

この概算はほぼ土地部分の整備費のみ。施設整備費（東屋程度は含むが）は含まれていない。→ 物価高騰も踏まえるとどこまで町で整備できるのか・・・

#### ② 整備スケジュール

各施設の整備をするにあたり、関連施設（道路など）の工事スケジュールが明確になっていないため、いつから公園の整備が始められるかわからない。

また、道路の線形など外部条件が変更される可能性もあるため、想定どおりに進まない可能性もある。

#### ③ 誰が管理するのか

3公園の維持管理・施設のメンテナンスを将来にわたって町が続けていくことは非常に困難。

施設の全部もしくは一部を民間に管理してもらうなど、維持管理コストを抑えられるような方法の検討が必要。

### 3. 今年度の町委託業務について

令和8年度は

3公園+旧貯木場について **「民間活力導入検討業務」**  
を実施します

公園全体の整備、管理・運営をしてくれる事業者の調査だけでなく

「公園の一部なら管理ができる」 とか  
「こういった施設整備ならできる」 など

様々な関わり方について、下流市の企業などを中心に調査をしていく  
予定です。

# 4. 意見交換



# 第35回アウトドアカレッジまとめ①

## ■ 3公園の検討経過

### ○ 過去の業務委託（令和3～5年度）

- ・ ダム湖周辺の利用者分析、ニーズ調査、アクセスルート検討。
- ・ 各公園予定地の現地調査（地形・眺望・既存施設など）。
- ・ 近隣市町村の類似施設の機能比較。
- ・ 水没地区住民へのヒアリング（文化継承・地域性の保持など）。

### ○ 設楽ダム対策協議会の水没地区役員・委員のニーズ整理

- ・ 地域の歴史・文化を継承できる公園にしてほしい。

大名倉：石碑の設置、もみじやあじさいの植樹

川向：しだれ桃の里の再現、石碑、ベンチ

八橋：忠魂碑、歌碑、石灯籠の復元。

→共通：メモリアルパーク的な機能の設置が必須。

# 第35回アウトドアカレッジまとめ②

## ○各公園の概要

### ・大名倉公園

南側 15,000m<sup>2</sup>、北側 10,000m<sup>2</sup> と広い。

道路より公園予定地の位置が低く、アプローチ方法が課題。

過去の検討業務時から道路計画が変更されており、最新ルートに合わせた再検討が必要。

### ・川向公園

約13,000m<sup>2</sup>、細長い形状でくびれ部の最も狭い箇所は20m。

国道257号に近い側は道路との高低差が大きく、盛土などの調整が必要。

国管理のスロープは管理用船舶の利用が想定されるため、民間利用の際は調整が必要。

階段護岸を想定（護岸から湖面に降りることは禁止）。

# 第35回アウトドアカレッジまとめ③

## ○各公園の概要

- ・八橋公園 . . . 現状の公園も活用することになると想定。  
旧八橋小跡地は水没区域内であるため固定物の設置は困難。  
→イベント時の仮設利用（足湯・可動式BBQなど）程度か。  
旧八橋小跡地はアクセス道路が課題で、水没区域内の既存道路の一部活用や現道の設楽根羽線（将来的にはダム管理道路？）の利用が出来ればなんとかなるかも。

## ○今後のスケジュール（案）

令和8年度：民間活力導入の検討開始

令和9年度以降：基本計画策定

令和14年（試験湛水開始まで）：整備を進めたい

# 第35回アウトドアカレッジまとめ④

## ○現在の課題

- ・物価高騰により、どこまで町が公園整備に予算を投じられるか。
- ・道路計画変更・国や県の工事スケジュールが不明確で、実際にいつから整備が始められるか不透明。
- ・将来にわたり公園を維持管理していくため、コストを抑える管理方法の検討。

## ○今年度の委託業務

- ・民間活力導入（PFI等）の可能性調査。
- ・公園全体管理だけでなく、一部管理・特定施設のみでの整備運営など、多様な関わり方を調査。

## 第35回アウトドアカレッジまとめ（意見交換①）

- ・参加者A：大名倉公園は漁協から釣り堀を設置の要望があったという記録が残っているが、どこを想定しているか？（町から質問）  
→水量が安定せず困難。
- ・参加者B：植樹などを進めるにあたり大名倉公園は広く魅力的。  
トイレ・電源整備が重要。
- ・参加者C：公園単体での収益化は難しい。  
維持管理を民間に任せるとはどんな形を想定しているか。  
→今年度業務で、公園全体を管理・運営してくれる事業者が見つかるのが望ましい。そうでなくても、公園の一部の植栽管理を担う企業が出てくるなど、様々な関わり方を検討していく。

## 第35回アウトドアカレッジまとめ（意見交換②）

- ・参加者D：今年度の業務委託を行うにあたり、民間企業から多くのアイデアを出してもらうために、町の示すゾーニングは「仮」であることを明確に伝えた方が良い。
- ・参加者E：大名倉の東海自然歩道の扱い → 新ルートに付け替え予定。
- ・参加者F：川向公園の階段護岸の利用方法 → 観覧・休憩用途を想定。
- ・参加者G：PFIを行うとしても、この3公園だけでは規模が小さく手を挙げにくい。山村都市と組み合わせて発注したほうが、山村+3公園で利活用の魅力が高まるので、そのような検討をしてほしい。

# 参加者アンケート

本日はご参加いただき、ありがとうございました。  
本日の感想など、アンケートにご協力をお願いいたします。



人と自然と繋がりを五感で感じる場

# アウトドアアカレツジ

つながり、はじまる。

設楽町での豊かな暮らしを  
未来に繋いでいくために、  
今ある地域資源、語り継がれる  
文化などを再認識します。  
私たちの町に活気、愛着、  
自信を！

An illustration shows a person in a brown coat and a dog in a blue coat standing on a path. They are looking towards a landscape framed by an archway, which includes a green mountain, a blue sky, and a body of water with fish. The scene is bathed in a warm, golden light.

○内容：ダム湖周辺整備・焚き火を囲む会 など  
○スケジュール：第3水曜日 19:00～ ※zoomでも参加可能（月に1回程度開催予定）

主催 / 企画ダム対策課  
問い合わせ先 / 企画ダム対策課：0536-62-0514  
(kikaku@town.shitara.lg.jp)

A small QR code is located at the bottom right of the flyer, next to the contact information.

◀開催情報はこちら